

「国際バカロレア検討委員会 報告書」について

現状と課題

背景

該当頁: 1頁

- グローバル化の進展
- 日本の国際競争力の低下
- 若者の「内向き志向」

アジアヘッドクォータープロジェクトの推進に伴い来日する外国人生徒の受入

国際社会の様々な場面で外国人と対等に渡り合い、リーダーとして活躍し得る人材を育成する必要

外国企業の誘致に伴い来日する外国人の子弟に対して、生活環境を整備する必要

都立学校におけるこれまでの主な取組

該当頁: 2~4頁

- 特色ある学校の設置 ⇒ 国際人の育成、在京外国人生徒の受入
＜国際高校、立川国際中等教育学校＞
- 外国語コースの設置 ⇒ 優れた国際感覚や外国語能力を育成
＜小平高校、深川高校、松が谷高校＞
- 次世代リーダー育成道場の開設 ⇒ 留学にチャレンジする都立高校生を支援

グローバル人材の育成に向けて

都立学校におけるグローバル人材育成の必要性

該当頁: 5頁

国際社会を舞台に活躍し、日本社会^{けんいん}を牽引する次代のリーダーを計画的に育成していくことが、都立学校に課せられた社会的使命

意欲と資質を有する生徒を卒業後に海外大学に進学させ、世界から集まる学生と厳しい環境^{せつきたくま}の中で切磋琢磨させるため、都立学校において、海外大学へ進学しやすい環境を整備する必要

平成26年度から英語による授業を実施し、将来的に、国際バカロレアの認定を目指す

国際バカロレアの概要

該当頁: 7~13頁

スイスのジュネーブに本部を置く国際バカロレア機構から認定を受けた学校の課程を修了し、統一試験に合格した生徒に対し、海外大学への進学資格を付与する仕組み

今後の展開

該当頁: 14~16頁

国際バカロレアの認定の取得に向けた取組

平成25年度…英語による授業を行う準備と国際バカロレアの認定の取得に向けた調査研究を実施
平成26年度…英語による授業を開始

教育課程や特色ある教育活動等

ディプロマ・プログラムと学習指導要領との整合性を確保した教育課程

- ・ 原則、国語等を除く教科・科目で英語による授業を実施
- ・ ディスカッションやディベート等の授業を効果的に実施
- ・ 少人数指導等による、教育スタッフと生徒との双方向の授業展開を徹底

教育スタッフの確保・育成

日本人教員だけでなく、外国人の教育スタッフを活用

国際バカロレア認定を目指す学校

該当頁: 17頁

国際高校

今後の検討

該当頁: 18頁

- 国際バカロレアの認定に向けた調査研究を推進
- 国際高校を含めた検討体制を構築し具体的に検討